

7月

3 (水)	リフレッシュ事業（託児） 10:30～13:30 いきいきセンター「桂寿苑」 ※要申込（社会福祉協議会 ☎65・2271）
4 (木)	がん検診・各種健診 （胃・肺・結核・大腸・前立腺・子宮・乳・肝炎） ※受付時間は対象者への通知にてご案内します 総合福祉センター
7 (日)	【当番医】穂波整形外科 ☎25・0066（飯塚市太郎丸）
10 (水)	公正証書相談会 13:30～16:00 いきいきセンター「桂寿苑」 ※要申込（社会福祉協議会 ☎65・2271）
11 (木)	離乳食教室 9:45～13:00 総合福祉センター ※要予約（健康推進係 ☎65・0001） 行政相談員による相談会 13:00～16:00 総合福祉センター
12 (金)	女性のための相談室 ①13:00～ ②14:00～ 総合福祉センター ※予約の方を優先いたします。 （高齢者・女性係 ☎65・0001）
14 (日)	【当番医】松口循環器科・内科医院 ☎26・0800（飯塚市楽市）
15 (月)	◆海の日 【当番医】三宅脳神経外科病院 ☎25・5050（飯塚市楽市）
17 (水)	リフレッシュ事業（託児） 10:30～13:30 いきいきセンター「桂寿苑」 ※要申込（社会福祉協議会 ☎65・2271）
18 (木)	弁護士による無料法律相談 13:00～16:00 住民センター ※要予約（総務課 ☎65・1100）

20 (土)	終活セミナー 10:00～12:30 住民センター ※要申込（社会福祉協議会 ☎65・2271）
21 (日)	【当番医】宮嶋耳鼻咽喉科 ☎28・3347（飯塚市南尾）
26 (金)	女性のための相談室 ①13:00～ ②14:00～ 総合福祉センター ※予約の方を優先いたします。 （高齢者・女性係 ☎65・0001） 大人の朗読会講座 10:00～12:00 町立図書館 フリースペース ※要申込（町立図書館 ☎65・4946）
27 (土)	終活セミナー 10:00～12:30 住民センター ※要申込（社会福祉協議会 ☎65・2271）
28 (日)	【当番医】あおやぎ内科クリニック ☎72・3230（飯塚市大分）

8月

4 (日)	【当番医】青柳医院 ☎65・0013（桂川町土師） がん検診・各種健診 （胃・肺・結核・大腸・前立腺・子宮・乳・肝炎・口腔） ※受付時間は対象者への通知にてご案内します 総合福祉センター
7 (水)	リフレッシュ事業（託児） 10:30～13:30 いきいきセンター「桂寿苑」 ※要申込（社会福祉協議会 ☎65・2271）
9 (金)	女性のための相談室 ①13:00～ ②14:00～ 総合福祉センター ※予約の方を優先いたします。 （高齢者・女性係 ☎65・0001）

11 (日)	◆山の日 【当番医】麻生耳鼻咽喉科クリニック ☎28・1122（飯塚市堀池）
12 (月)	◆振替休日 【当番医】嘉穂信和病院（旧 石田病院） ☎62・2788（桂川町土師）
13 (火)	【当番医】内田外科内科医院 ☎65・2121（桂川町土居） 【歯科当番医】沖歯科医院 ☎52・0757（嘉麻市上山田）
14 (水)	【当番医】西園内科クリニック ☎24・9308（飯塚市小正） 【歯科当番医】岸田歯科医院 ☎24・4833（飯塚市西町）
15 (木)	【当番医】宮嶋医院 ☎22・1477（飯塚市忠隈） 【歯科当番医】川波歯科子ども歯科クリニック ☎65・4010（桂川町土居）

病院名変更のお知らせ

医療法人 石田病院 ▶ 医療法人信和会 嘉穂信和病院

農産物直売所

けいせん とれたて村

【日 時】毎週日曜日 8時00分～
※売り切れ次第終了いたします。
【場 所】地域商社いいバイ桂川
（ひまわりの里横）
【販売物】野菜・弁当・こんにやくなど
【問合先】産業振興課 ☎65・1106

▽後期高齢

昭和24年7月5日生まれの私は、今年、満75歳になりました。

* 町長室から

75歳になると医療保険証が変わったり、家族の扶養ができる立場から外されたり、運転免許証の更新に制限が設けられたり…。制度の適用が自分事になったことを改めて自覚しています。と同時に、これまでの健康に感謝する気持ちと、これから先に対する不安が混在していることは否めません。

後期高齢者医療制度が施行された頃、様々な議論がありました。中でも、「後期高齢者」というネーミングが批判されたことを記憶しています。あれから15年ほどが経過し、制度的には定着したようですが、若い人たちの関心は低いように思われます。

私たちの世代は「団塊の世代」と呼ばれ、何かにつけて注目されてきました。そして『2024年問題』の対象としてクローズアップされ、まさに日本社会はその渦中にあります。

人にはそれぞれの生き方があります。同世代の人たちとの会話では、家族特に孫のことや病気・病院のこと、あるいは年金のことが中心になりますが、まずは自身の健康管理が大切であることは間違いありません。「生涯現役」を自認される方も、趣味を持ち仲間づくりを大切にされていることと思います。『75歳、今も旬』、毎日が新しい。そうありたいと切に願うこの頃です。

桂川町長 井上利一